

時間：13 時半～16 時半（3 時間、休憩・質疑応答含む） 於：SOFTIC 会議室

	2016	講 義 概 要 *カッコ内講師名（敬称略）	レベル	テーマ
第 1 回	7/7 (木)	知財概論（弁護士：小栗久典） 知的財産権概論。ケーススタディを交えながら知財各法の目的、特色、改正動向等をコンパクトに解説。	中級	著作権
第 2 回	7/14 (木)	著作権法概論（慶應義塾大学教授：奥邨弘司） 日本著作権法を概観し全体像を把握する。具体例ではソフトウェア、コンテンツを中心に解説。	中級	
第 3 回	7/20 (水)	日米の著作権侵害事例（弁護士：椛山敬士） 著作権講義上級。著作権法の本質的理解を踏まえ日米の侵害事例の動向をまとめる。	上級	
第 4 回	9/14 (水)	契約概論（弁護士：小倉秀夫） 契約とは何か、まずその基本的な理解を目指す。その上でソフト取引特有のポイントを解説。	中級	契約
第 5 回	9/21 (水)	ソフトウェア契約（(株) 日本総合研究所法務部長：大谷和子） ソフトウェアの開発・流通・利用、各フェーズにおける契約書類型を概観。民法改正のポイントも紹介。	中級	
第 6 回	9/29 (木)	ソフトウェア契約を巡る法的トラブル（弁護士：吉田正夫） ソフトウェア契約上級。ソフトの開発から運用・保守まで契約上の留意点を QA 式で細かく解説。演習問題も。	上級	
第 7 回	10/13 (木)	ソフト特許概論（弁理士：三品岩男） ソフト発明とはどのようなものか、またソフトの特許による保護について審査基準を辿りつつ具体的な技術をもとに解説。	中級	特許権
第 8 回	10/19 (水)	特許出願実務（弁理士：土井健二） 特許出願実務において法務担当者が果たすべき役割を演習形式で疑似体験する。権利取得のノウハウも。	中級	
第 9 回	10/27 (木) *調整中*	特許侵害論（弁護士：水谷直樹） 特許上級。侵害訴訟における攻撃と防御、特許庁と裁判所の役割、ソフトウェア特許特有の問題点等、最新動向を踏まえ深く掘り下げる。	上級	
第 10 回	11/2 (水)	知財訴訟の裁判実務（弁護士：飯村敏明） 特許・著作権訴訟を巡る裁判実務について解説。訴訟手続の概論から請求の立て方、侵害成否判断のポイント等をまとめる。		知財関連諸問題
第 11 回	11/10 (木)	不正競争防止法（弁護士：小川憲久） 営業秘密漏えいへの対抗、また、周知・著名商品表示や商品形態を冒用・模倣からいかに守るか等、不競法の守備範囲は広い。改正動向も踏まえ、その全体像を事例豊富に紹介する。		
第 12 回	11/16 (水)	独占禁止法と知的財産権（弁護士：佐藤郁美） 権利を独占させる知財権と独占を禁じる独禁法。競争法の基本的な考え方を概観するとともに知財関連事案を指針、ガイドライン、勧告等をもとに解説し、常に緊張関係にある両法の理解を深める。		
第 13 回	11/24 (木)	システム関連紛争の予防と解決（弁護士：大澤恒夫） いかにして法的トラブルを避けるか、起きてしまったトラブルをいかに迅速に解決するか、考え方とポイントを整理。		
第 14 回	12/8 (木)	知財最新動向と企業実務（SOFTIC 専務理事） IoT やビッグデータにおけるデータの利活用における課題（データベースやデータそのものの保護、発展著しい AI に関する知財問題）等知財に関わる最新のトピックについて解説するとともに、企業実務への影響を考える。		

時間：13 時半～16 時半（3 時間、休憩・質疑応答含む） 於：SOFTIC 会議室

第 15 回	12/14 (水)	OSS ライセンス（弁護士：上沼紫野） 企業の基幹システムからクラウド基盤の構築・運用まで、今やなくてはならない OSS。その代表的なライセンスである GPL について背景や変遷を解説。その上で、GPLv2、v3 それぞれの内容を詳細に比較し、本質的な理解を目指す。	知財関連諸問題
第 16 回	2017 1/12 (木)	デジタルコンテンツの権利処理（弁護士：村尾治亮） ソフトウェアからネット上の情報に至るまで、あふれかえるデジタルコンテンツ。その利用及び流通を巡る契約実務を紹介、ビジネスにおける適切な権利処理のための留意点をまとめる。	
第 17 回	1/18 (水)	クラウドコンピューティング（弁護士：岩原将文） 技術イノベーションとして定着し法律にも変化を迫るクラウドコンピューティング。従来型サービスとの異同、そこから生じる問題等を、主に著作権法、特許法の観点から解説するとともに、クラウドにおいてより顕在化する問題点を取り上げる。	クラウド
第 18 回	1/27 (金)	改正個人情報保護法の解説と越境データ問題（新潟大学教授：鈴木正朝） クラウドビジネス等における個人情報保護法上の論点の解説を中心に、現行法制度上の課題を検討。ビジネスの法的基盤の現状と限界、また法改正など、最新の動向にも触れる。	
第 19 回	2/2 (木)	ネットワークと著作権（弁護士：井口加奈子） デジタル化・ネットワーク化により著作物利用の主体・態様は爆発的に多様化している。その変化を追うとともに、複雑化する侵害・紛争事例と顕れる問題点について米国の動向も含め解説。	
第 20 回	2/9 (木)	クラウド上の特許問題（弁理士：相田義明） クラウドの普及・定着とともにこれまで以上に問題になりうる特許法上の有効性や侵害の事例について演習問題も用い具体的に解説。	